

### 3 活性化基本方針体系図

#### ～現状と課題～

少子化による高等教育機関の競争激化、米短の志願者確保・就職の厳しい現状  
米短への要請（人材の養成と供給、教育・研究成果の地域への還元、県民に対するサービス提供）

地域社会の「基盤力」の強化（人づくり）  
米短の個性・特色を明確化し、大学の魅力づくりに取り組む

やまがた総合発展計画  
1-1-1 長期構想(P53)  
⑤大学間や地域との連携等を通じた  
高等教育機関の機能強化(短期推  
進プログラム P4)

#### ～目指すべき姿～

- (1) 人材養成の視点＝教養と実学を身に付け、課題探求能力とコミュニケーション能力を持った人材を養成し、地域社会に送り出すことを目指す。  
「顔の見える教育」「手づくりの少人数教育」という米短の伝統と強みを活かし、個性と特色ある教育の展開を目指す。
- (2) 公立大学の視点＝「地域のための大学」という公立大学の設置の趣旨に則り、教育・研究・地域創造活動を通じて、県の政策実現と地域の発展に寄与することを目指す。
- (3) 大学運営の視点＝組織の活性化を図り、自律的・効率的な大学運営を目指す。

#### やまがた総合発展計画(短期推進プログラム)

- 地域、産業界及び高等教育機関の連携を強化し、地域ニーズを踏まえた人材育成機能を拡充
- ・ 学生・地域のニーズを重視し、時代の要請を踏まえた米沢女子短期大学の活性化推進

#### やまがた集中改革プラン

- 機動的・効率的な行政システムへの転換
- ・ 県立大学について、地方独立行政法人(公立大学法人)化も視野に、自律的で弾力的な大学運営に向けたあり方を検討

### 「学生が主役」の視点をもった大学づくり

#### 基本的方向1 (魅力と特色ある教育への改革)

多様な学生のニーズに応え、学生の個々の能力を伸ばして社会に送り出すため、「教養」、「実学」、「キャリア支援」を三本柱とした魅力と特色ある教育を展開する。

#### 【具体的方策】

- ① 教養・実学を重視した教育への改革
  - ・ 学生・地域・時代のニーズに即した学科・カリキュラムのあり方の検討
  - ・ 社会人として必要な基礎能力の育成、語学・IT等コミュニケーション能力の育成強化(→「言語コミュニケーション分野」に重点化)
  - ・ 多様な分野において地域で活躍している実践者等による講義の実施
  - ・ 少人数ならではのきめ細かい「顔の見える教育」による堅実・着実な能力養成
- ② キャリア支援機能の充実
  - ・ 学生のキャリア支援を総合的に企画・実施するキャリア支援センターの設置(学生の就職・進学・資格取得等の支援(公務員講座等))
- ③ 編入学教育の強化
  - ・ 編入学対策講座(英語・小論文)の開設
  - ・ 編入学先の大学の開拓等連携強化
  - ・ 編入学のための奨学金制度の創設
- ④ 学生の学習環境の改善
  - ・ 図書・設備等の学生の学習環境の改善
- ⑤ 男女共同参画社会づくりへの貢献
  - ・ 多様な分野で活躍できる女性の育成を目指した教育プログラムの開発
  - ・ 時代の要請に応じ、公立大学の視点に経営的視点を加えた共学化の検討
- ⑥ 他高等教育機関や高校との連携
  - ・ 「大学コンソーシアムやまがた」における単位互換の推進(山大工学部との協定)
  - ・ 公益大、山大、近県大学等との教育研究、編入学、教職員交流などの連携強化
  - ・ 地元高校との連携の推進、地域高校教育への貢献
- ⑦ 教員の意識改革・教育の質と研究力の向上
  - ・ 教育や地域創造の取組みについての教員の意識改革
  - ・ ファカルティ・ディベロップメント活動や自己評価、第三者評価等を活用した教育の質の向上
  - ・ 研修・研究に取り組みやすい環境づくりと教員の研究力向上

#### 基本的方向2 (地域に根ざした大学)

地域に根ざした教育・研究に努め、その成果を地域に積極的に還元するとともに、地域創造活動、山形版コミュニティカレッジなど、地域に根ざした大学づくりを行う。

#### 【具体的方策】

- ① 地域に根ざした教育・研究
  - ・ 地域の歴史・資源を取り入れた地域史・地域学の展開と「やまがた文化」の継承・発掘の推進
  - ・ うこぎなどの地域の食資源を活用した企業との共同研究と産業化の推進等地域産業界への研究成果の還元
  - ・ うきたむ風土記の丘考古資料館、伝国の杜など地域の教育文化施設と連携した教育・研究のあり方の検討
  - ・ 生活文化研究所の地域と大学の窓口としての機能強化
- ② 地域創造への取組み
  - ・ 地域との連携・交流を通じ、中心市街地の活性化など地域の課題に対し、教職員・学生が積極的に関わり、地域の創造に貢献
- ③ 山形版コミュニティカレッジへの取組み
  - ・ 地域の社会人等を学生として受入れるため、多様な履修形態などの受講しやすい環境づくりを検討
  - ・ 地域文化・食育・IT活用能力など地域のニーズに即した公開講座の実施等生涯学習機会の提供
  - ・ キャリア支援センターの資格取得講座を社会人に開放するなど、コミュニティカレッジ機能への取組み
- ④ 大学施設の開放
  - ・ 公共財産である大学施設や設備の地域への開放を検討
- ⑤ 地域文化の県内外への発信
  - ・ 地域に根ざした研究成果、地域創造の取組みの県内外への発信
  - ・ 米短の教員が広く社会的に活躍する機会の拡大

#### 基本的方向3 (自律的・効率的な大学運営)

県立であることのメリットを活かしつつ、自主性・自律性を強化し、弾力的・効率的な大学運営を行う。

#### 【具体的方策】

- ① 公立大学法人化の検討等
  - ・ 大学運営の自主性・自律性を強化するとともに、弾力的・効率的な組織を目指し、法人化を検討
  - ・ 学内委員会等の組織や事務手続き、運営方法などの見直しを行い、運営の合理化・効率化を推進
- ② 教職員・学生の協働による大学運営
  - ・ 学内行事、地域創造活動等における教職員と学生の協働による運営
  - ・ 学内行事や学内外の改善点等について、学生の視点を大学運営に反映できる仕組みの検討
- ③ 教員評価の手法の検討
  - ・ 教育、地域創造活動の取組みを教員評価に反映させる仕組みの検討
- ④ 外部資金導入の取組み
  - ・ 国の大学教育改革の支援施策等外部資金導入の検討

